

日本電設 3ヶ年経営計画 2018

2018年度（第77期） ～ 2020年度（第79期）

変革に挑戦



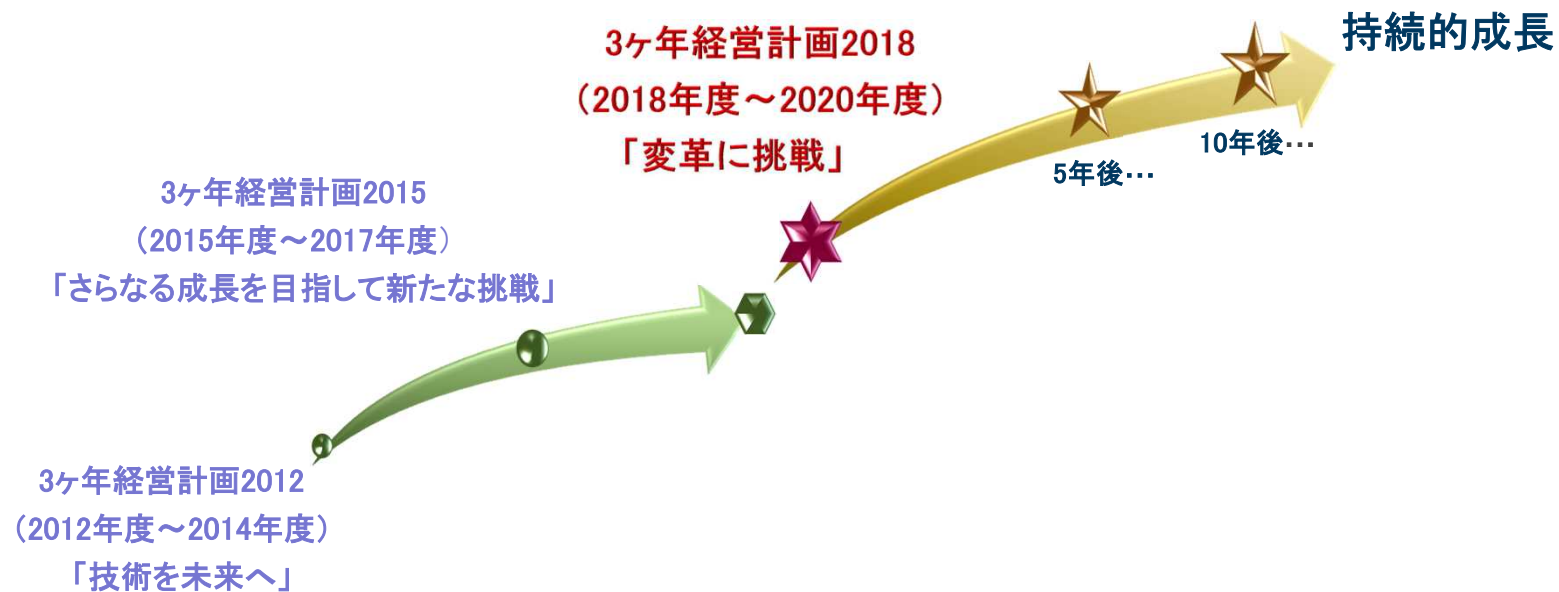
2018年5月24日



日本電設工業株式会社

日本電設3ヶ年経営計画2018では、経営基盤を強化してきた従来の基本方針を継承し、5年先、10年先を見据えた持続的成長に向けた施策を策定した。

また、大きく変化する社会環境に対応するため、副題を「変革に挑戦」として各種施策を推進していく。

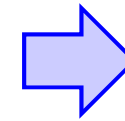


数値目標(連結)

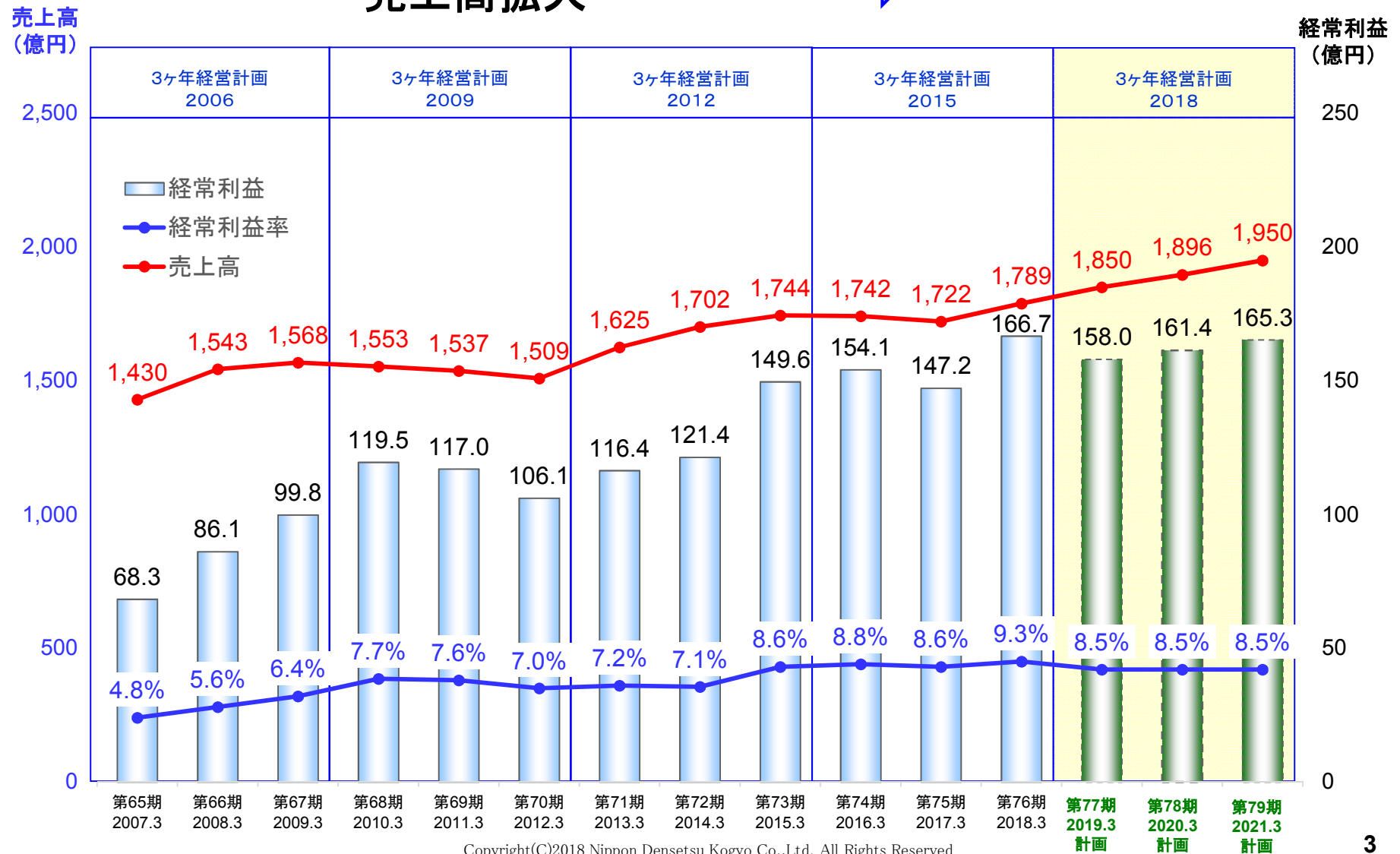
(単位:百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
受注高	185,400	194,300	193,900
売上高	185,000	189,600	195,000
営業利益	15,000	15,310	15,700
経常利益	15,800	16,140	16,530
営業利益率	8.1%	8.1%	8.1%
経常利益率	8.5%	8.5%	8.5%

高い経常利益率(8%台)を維持
売上高拡大



持続的成長



重点実施テーマ

安全・品質

「安全は会社経営上の最重要課題」は不変とし、顧客が求める安全・安心の追求と原理・原則に基づいた本質から物事を考えることの実践や計画から施工までのリスクを排除した「リスク管理型」の取り組みを推進し、全社でのPDCAサイクルを絶えず繰り返すことで安全で質の高い業務を遂行し、顧客の信頼を高め持続的成長に繋げる。

自ら考え行動する社員の育成

次世代へ繋ぐ人材を確保し、自ら考え行動する社員の育成と全社員が当事者意識を持ち日常的な相談・確認・コミュニケーション・支援を行うことや技術力及び気づき力を磨き、社員一人ひとりの人間力向上により、企業価値の最大化を目指す。

さらに協力会社の施工能力の向上、人材の確保と育成等の支援により全国の施工体制を強化する。

組織間連携による経営基盤強化

会社の成果を最大にするため組織内や全国の組織間の連携により強い組織づくりを進め、鉄道電気工事、一般電気工事、情報通信工事及び関連事業の全国での営業基盤を強みに、東日本旅客鉄道株式会社を最重要顧客としてニーズに幅広く応えられる取り組みや他の常連顧客への提案営業を推進し、新たに取り組む分野の受注拡大と本物志向の実践により経営基盤を強化する。

また、NDKグループ会社との相互連携を図り、新たな目標に向けた取り組みと業容の拡大によりNDKグループの総合力向上を目指す。

働き方改革の推進

業務の効率化・省力化・減量化・ICT活用等による生産性向上への取り組みと、長時間労働の是正、多様な働き方の実現及びワークライフバランスの取り組み等による働き方改革を推進し、働きがいがあり社員が自信と誇りを持てる会社を目指す。

鉄道電気工事 施策

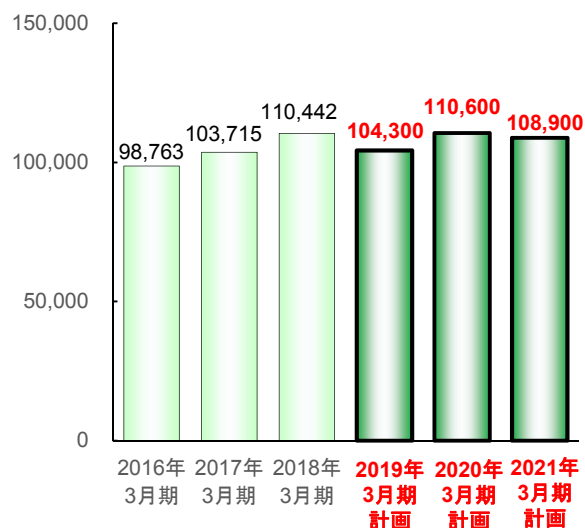
全国の鉄道事業者のニーズへ対応することで受注拡大を目指す。
また、鉄道電気工事のリーディングカンパニーとして、施工能力の向上を図るとともに効率的な施工を進めることにより全国の鉄道の安全・安定輸送に貢献する。

1. 東日本旅客鉄道株式会社のニーズへ幅広く対応
2. 公民鉄事業者等への営業力強化
3. 業務改善の推進と機械化による施工効率の向上
4. 技術力の向上と施工体制の強化

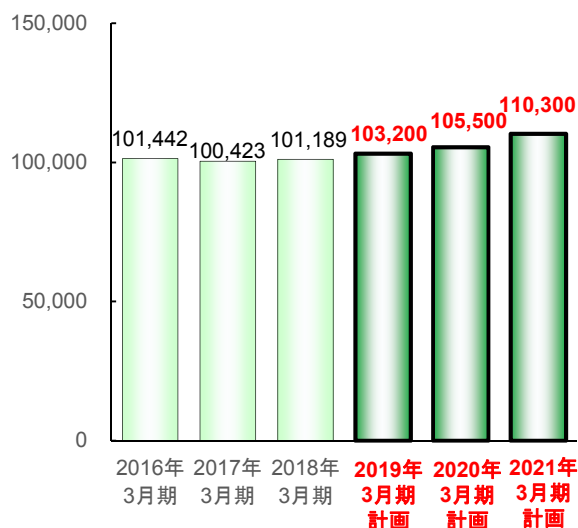
鉄道電気工事 数値計画

(単位:百万円)

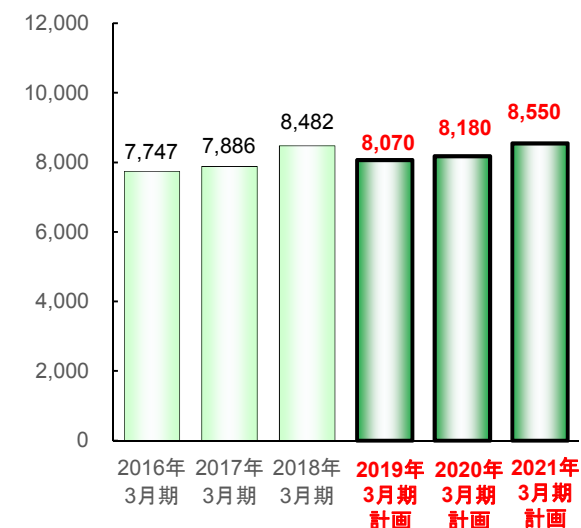
受注高



売上高



営業利益



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
受注高	104,300	110,600	108,900
売上高	103,200	105,500	110,300
営業利益	8,070	8,180	8,550

一般電気工事 施策

組織的な戦略的営業を強化することにより新築工事の受注拡大を目指すとともに施工能力の向上と施工の効率化を進める。

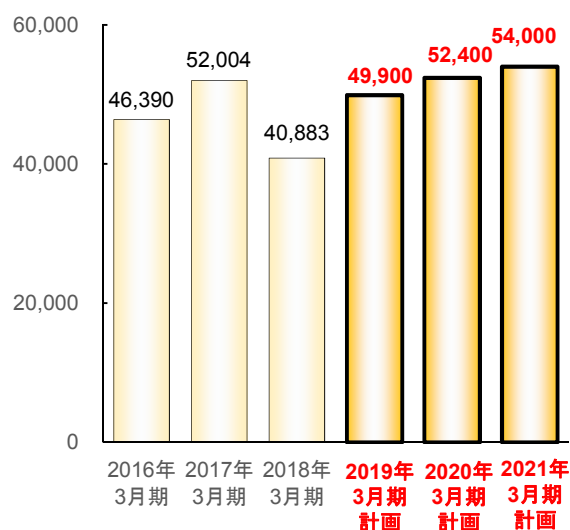
また、今後需要が見込まれる老朽インフラの再整備工事や風力発電等の新エネルギー関連工事へも積極的に挑戦していく。

1. 顧客等との関係強化による受注拡大
2. 設計力・提案力の強化
3. インフラの再整備工事等への対応強化
4. 技術力の向上と施工体制の強化

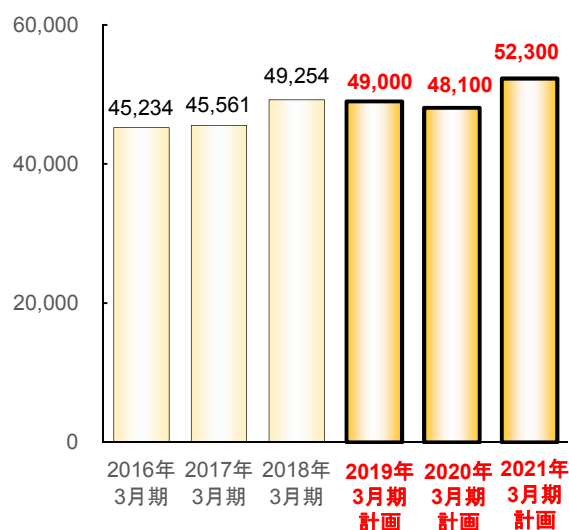
一般電気工事 数値計画

(単位:百万円)

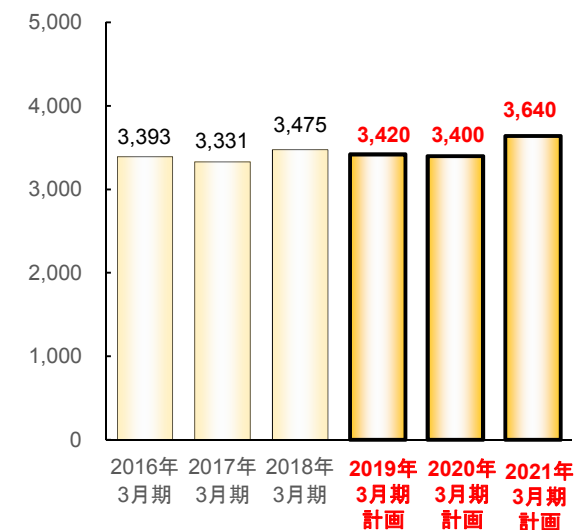
受注高



売上高



営業利益



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
受注高	49,900	52,400	54,000
売上高	49,000	48,100	52,300
営業利益	3,420	3,400	3,640

情報通信工事 施策

戦略的営業の強化によりネットワーク工事やモバイル工事等の受注拡大を目指すとともに施工能力の向上と施工の効率化を進める。

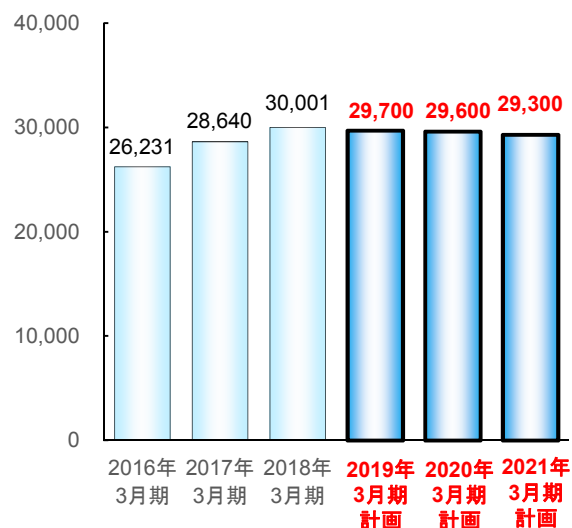
また、官公庁発注の大規模工事への参画やメーカーとの連携による新規顧客の獲得に取り組む。

1. 組織間の連携による戦略的営業の強化
2. モバイル工事の携帯電話第5世代移行工事への対応強化
3. メーカー営業網を活用した新規顧客の獲得
4. 技術力の向上と施工体制の強化

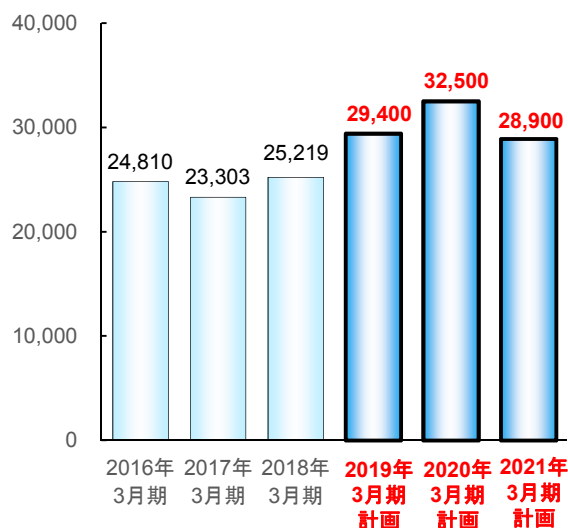
情報通信工事 数値計画

(単位:百万円)

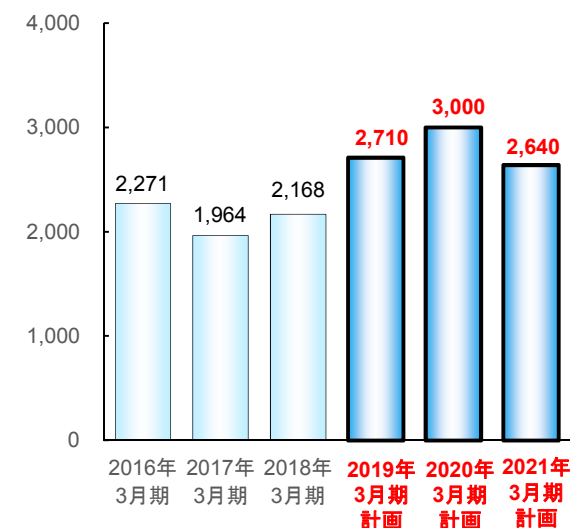
受注高



売上高



営業利益



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
受注高	29,700	29,600	29,300
売上高	29,400	32,500	28,900
営業利益	2,710	3,000	2,640

その他(関連事業)施策

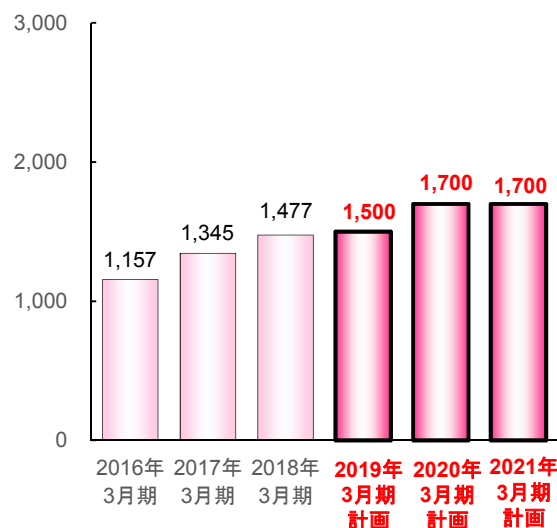
保有不動産の新たな活用方法の開発や子会社・グループ会社間の連携強化により、本業を補完する部門としてさらなる収益拡大を目指す。

1. 子会社との連携による連結業績の拡大
2. 企業不動産戦略の推進

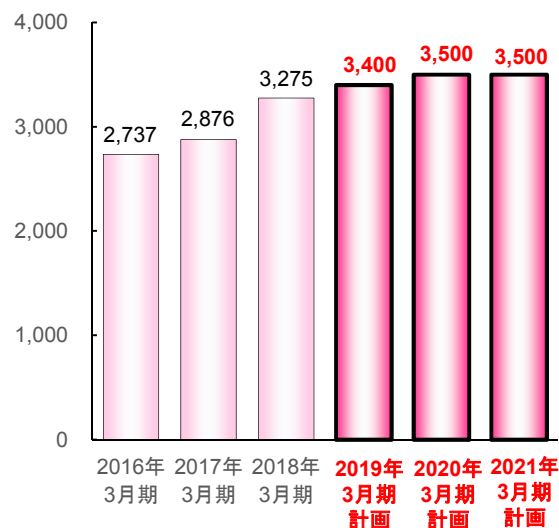
その他(関連事業) 数値計画

(単位:百万円)

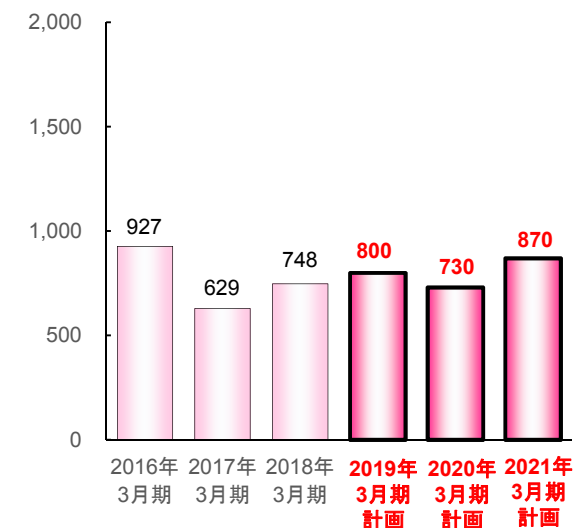
受注高



売上高



営業利益

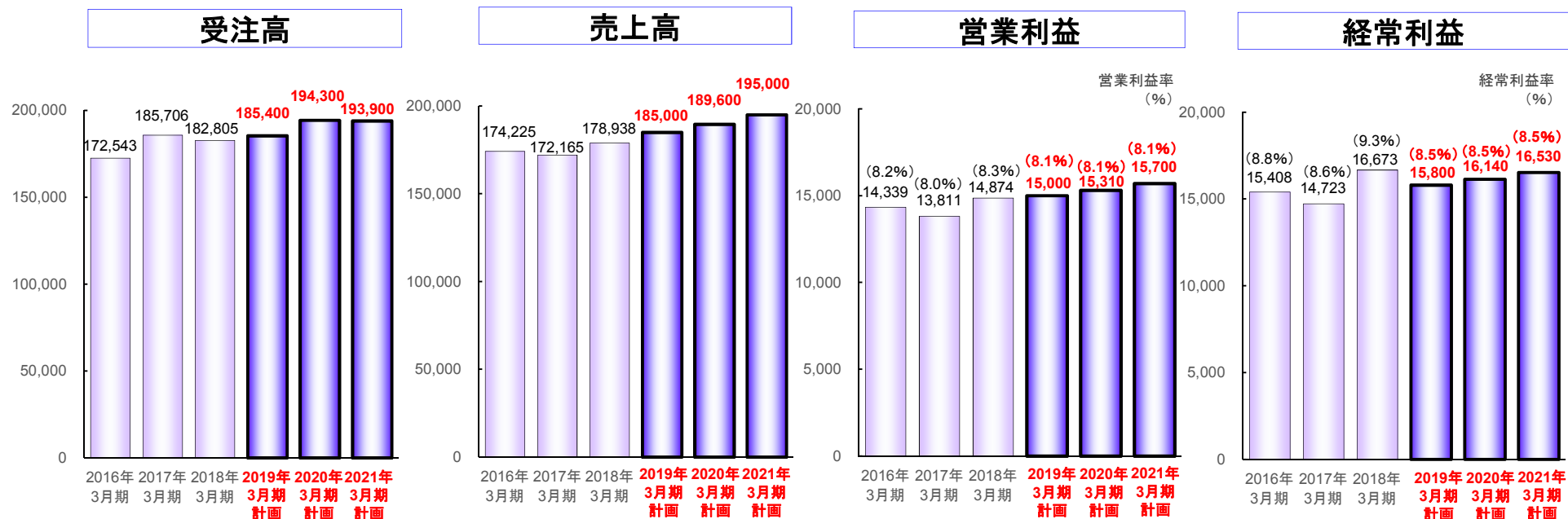


	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
受注高	1,500	1,700	1,700
売上高	3,400	3,500	3,500
営業利益	800	730	870

※「その他(関連事業等)」とは、関連事業、ビル総合管理、資材等の販売、ソフトウェアの開発および電気設備の設計等
 ※不動産の賃貸・管理等は、受注生産を行っていないため、「受注高」には金額が含まれていない

現在の高い経常利益率(8%台)を維持し、
売上高を拡大することで持続的成長を目指す。

(単位:百万円)



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
受注高	185,400	194,300	193,900
売上高	185,000	189,600	195,000
営業利益	15,000	15,310	15,700
経常利益	15,800	16,140	16,530

日本電設3ヶ年経営計画 2018

「安全・品質」

顧客の信頼を高め持続的成長へ

「自ら考え行動する社員の育成」

人間力向上による企業価値の最大化へ

「組織間連携による経営基盤強化」

NDKグループの総合力向上へ

「働き方改革の推進」

働きがいがあり社員が自信と誇りを持てる会社へ

変革に挑戦



日本電設工業グループ

本資料で記述しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後のさまざまなリスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は本資料における予想と異なる可能性があることをご承知おきください。

【お問い合わせ】

日本電設工業株式会社 広報部

〒110-8706 東京都台東区池之端1丁目2番23号



TEL: 03-3822-8825

FAX: 03-3822-8960

URL <http://www.densetsuko.co.jp/>